



諫早市の現況

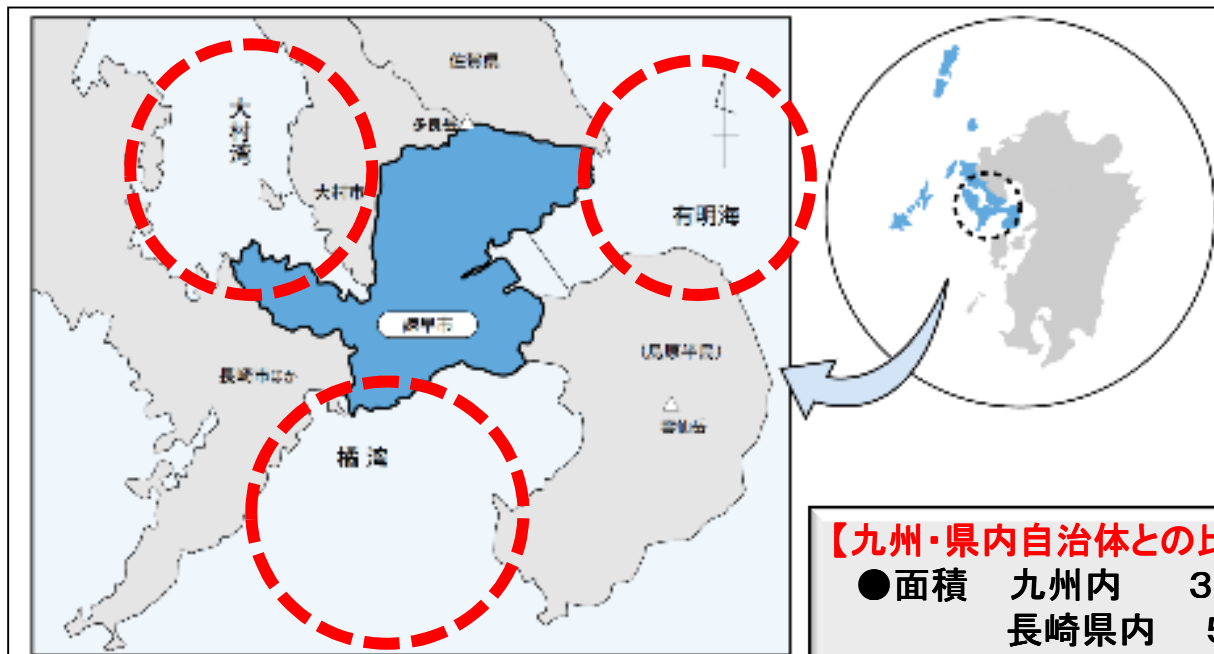
平成27年5月22日

政策振興部企画政策課

地理

諫早市は、長崎県の中央部に位置し、長崎・島原・西彼杵の各半島の結節部を占め、古くから交通の要衝として大きな役割を果たしている。また、東は有明海、西は大村湾、南は橘湾と三方を海に囲まれ、美しい多良山系を望み四季折々の豊かな自然に恵まれている。市の中心部を流れる本明川は、市街地を流れて有明海に注ぎ、下流の諫早平野は県下最大の穀倉地帯である。

気候は、一年を通して温暖で冬の積雪も少なく、豊かな自然と交通アクセスなどバランスの取れた都市環境にあり、住宅地としても優れている。



【市の面積】

●341.83km²

【人口と世帯数】

●総人口 137,683人

●人口(男) 64,676人

●人口(女) 73,007人

●世帯数 52,334世帯

(※平成27年4月1日現在)

【九州・県内自治体との比較】

●面積 九州内 38位／233市町村

長崎県内 5位／21市町

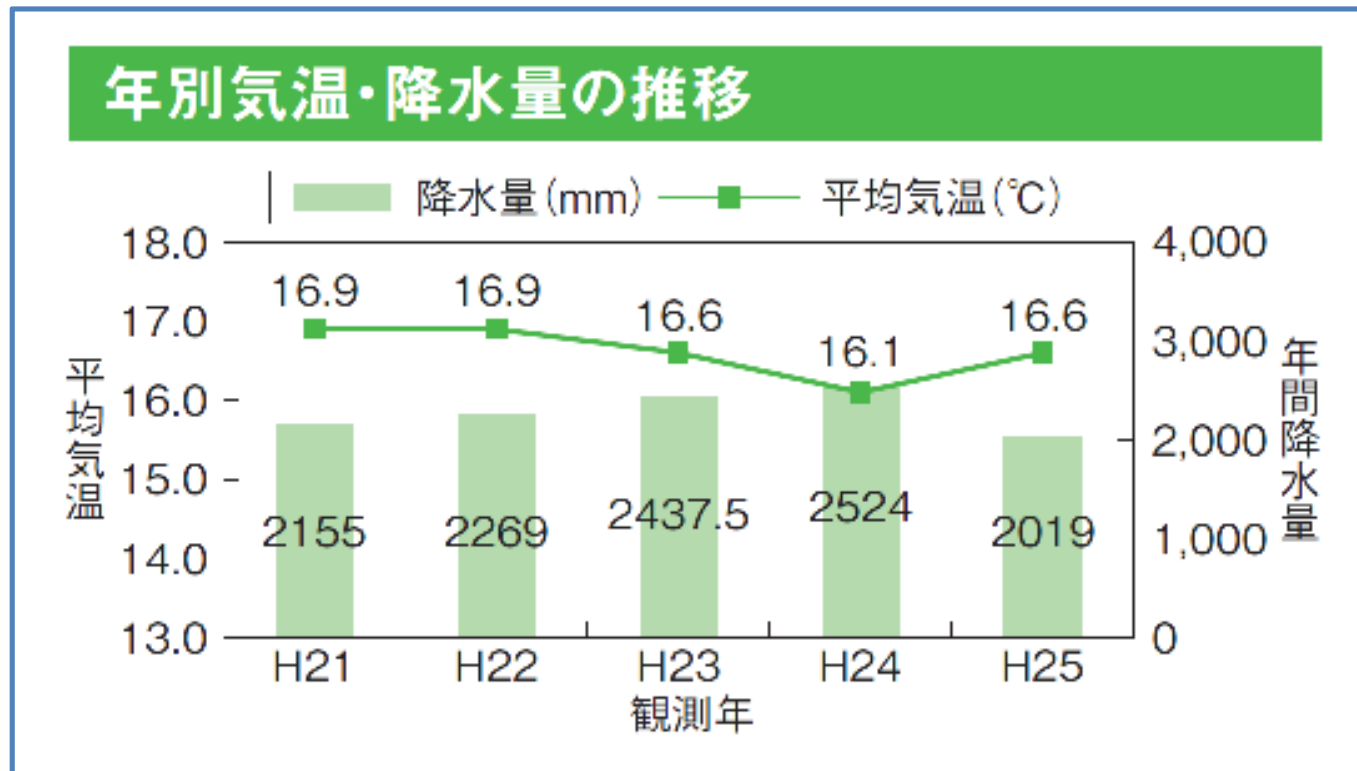
(※全国都道府県市区町村別面積調べ)

●人口 九州内 12位／233市町村

長崎県内 3位／21市町

(※平成22年国政調査)

年別気温・降水量の推移



諫早地方の気候は温和であり、多良山麓はかすみが多く、南風に恵まれ、平年の月平均気温は冬季4～6度、夏季26～28度程度で年平均では15～16度くらい。

降水量は温暖多雨で、梅雨期および台風期にあたる6～9月には月雨量は200～450mm程度に達する。

湿度は70～80%で1年を通じあまり変化はみられない。

交通



【諫早市の交通】

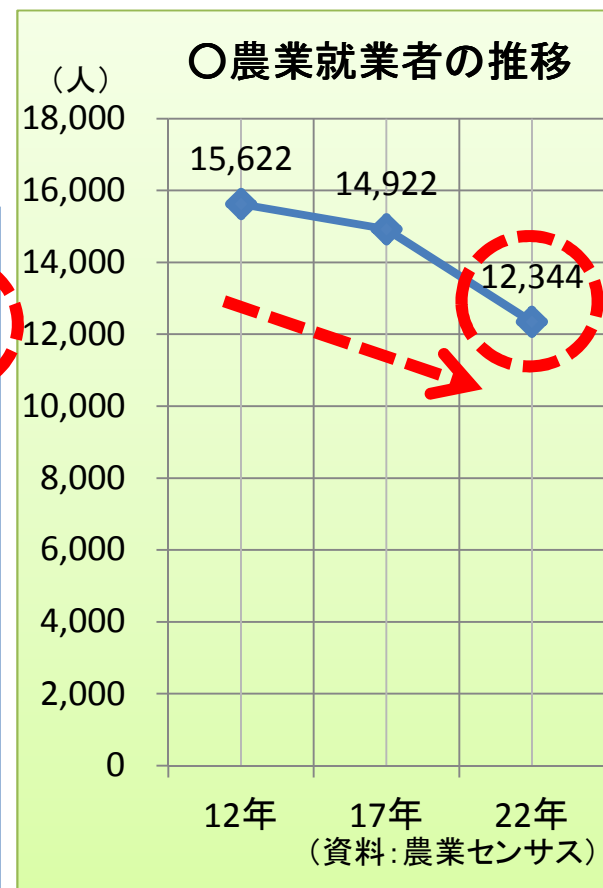
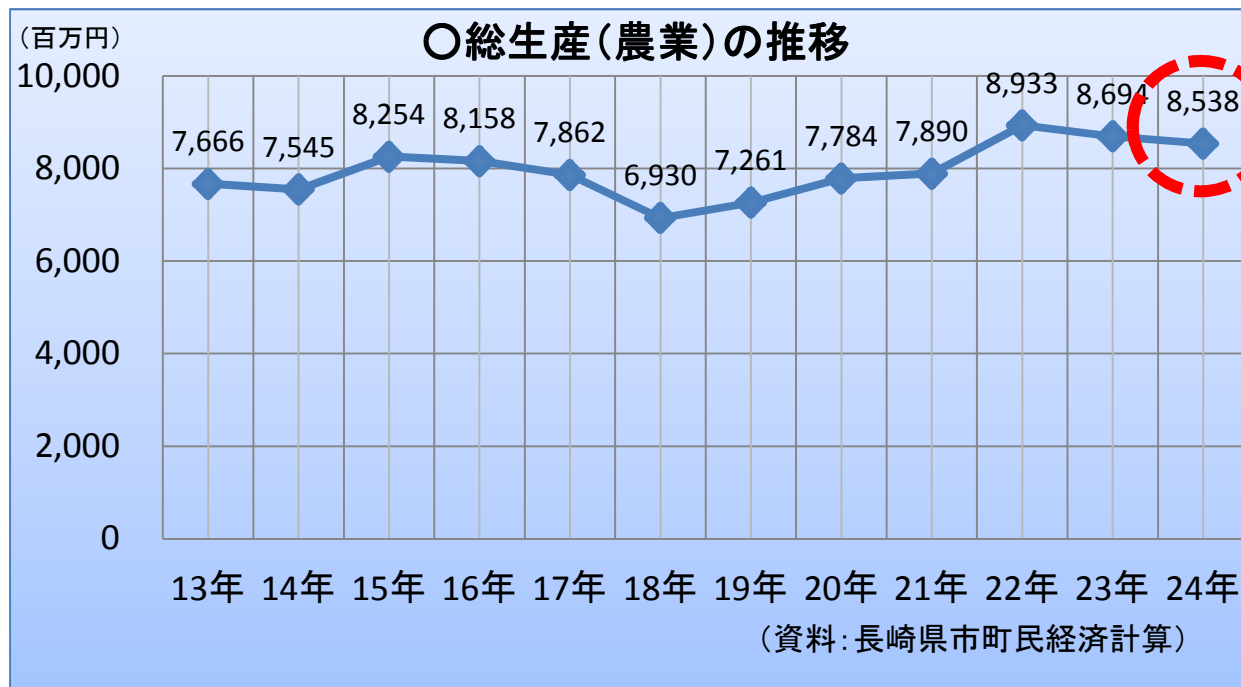
- JR長崎本線・大村線
- 島原鉄道
- 長崎自動車道
- 国道34・57・207・251号線
- (予定)九州新幹線西九州ルート

【諫早までのルート】

- JR
博多駅から諫早駅／約1時間30分
- 高速バス
博多駅から諫早I.C.／約2時間
- 飛行機
羽田空港から長崎空港
／約1時間50分
- 車
長崎空港から約25分
長崎から約20分
小浜から約40分
島原から約1時間
雲仙から約1時間

農業

本市の農業を取り巻く環境は、農業就業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加など厳しい状況にある。



○農業生産額(上位10品目)※平成24年度

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
作物	ばれい しよ	みかん	たまね ぎ	にんじ ん	ブロー ラー	米	ミニマ ト	きく	いちご	肉用牛
金額	1,619	1,231	913	871	826	806	664	639	461	370

(単位:百万円)

(資料:農協及び酪農協調べ)

林業

近年の本市林業を取り巻く状況は、木材価格の長期低迷、林業従事者の減少等により厳しい状況で、森林所有者のスギ・ヒノキなどの人工林に対する保育は減退気味。

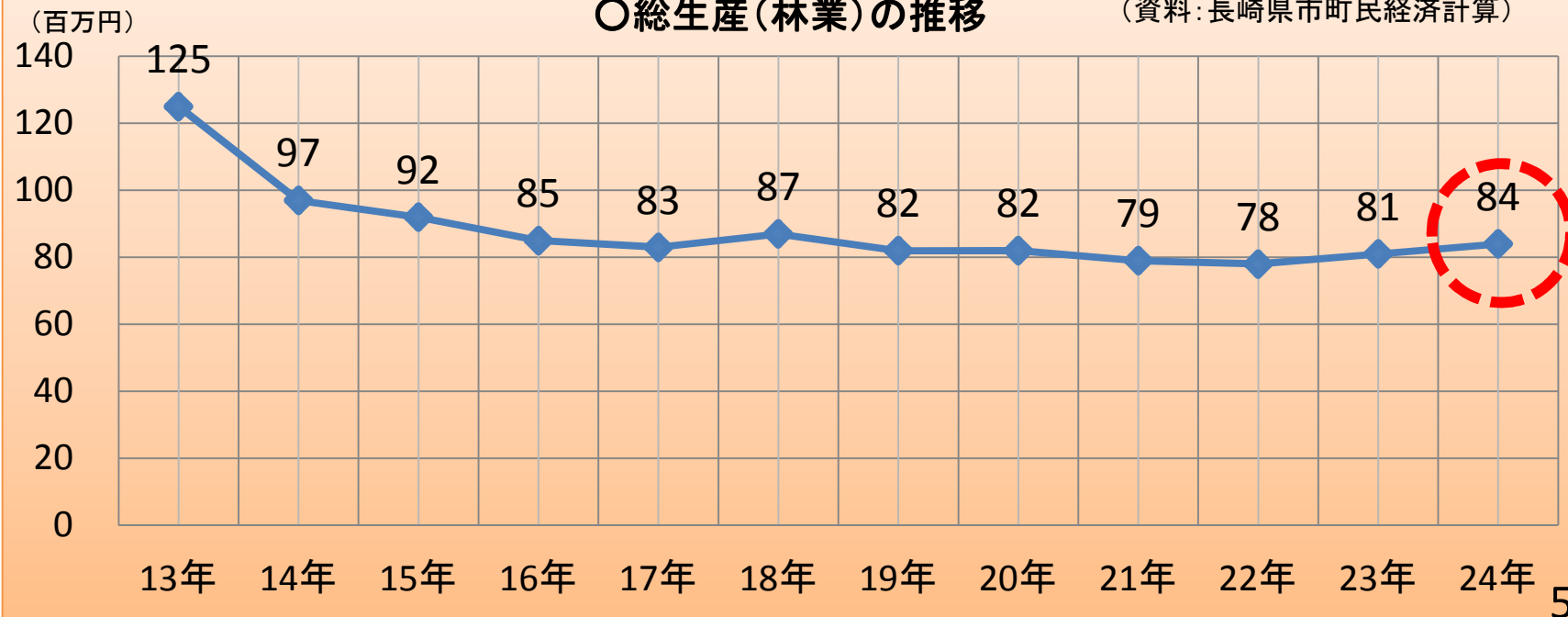
○経営形態別森林面積

(資料:平成25年度管内林業の概要)

総数	国有林	公有林			私有林		
	官行造林	県営林	市営林	他営林	研究所 森林総合	組合 生産森林	個人
14,271	34	496	1,880	90	183	478	11,110
		2,466			11,771		

○総生産(林業)の推移

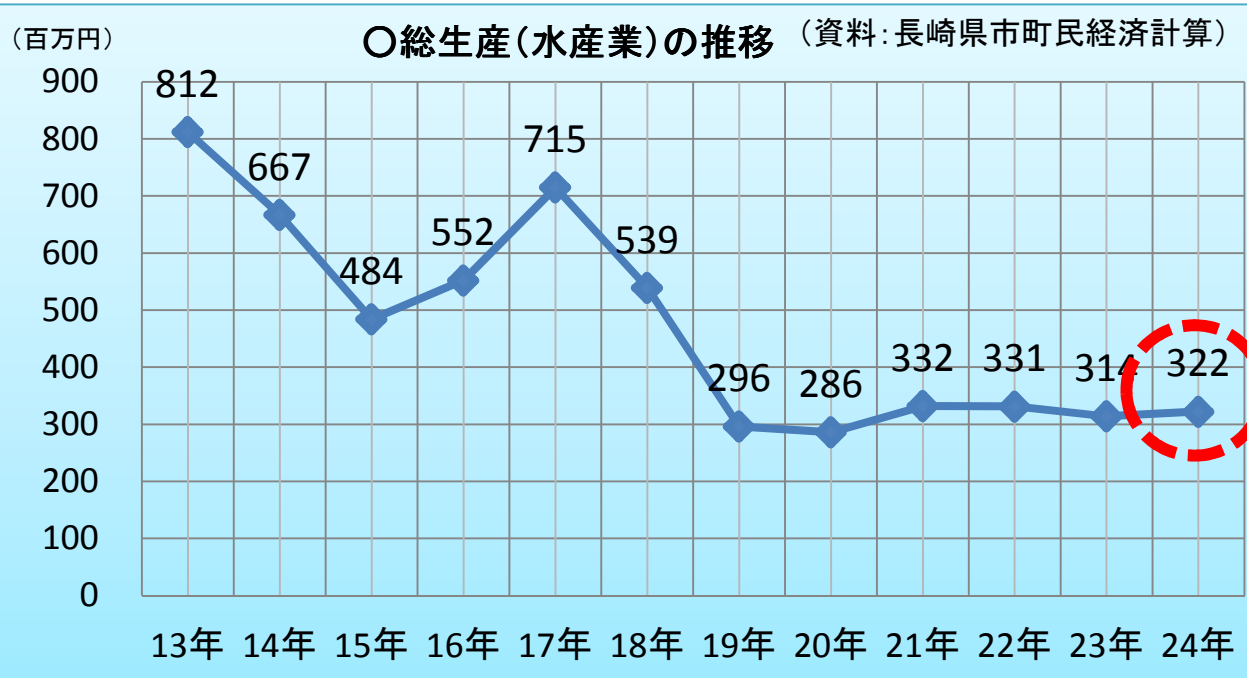
(資料:長崎県市町民経済計算)



漁業

橘湾、大村湾、諫早湾で営まれている漁業はそれぞれの特徴を活かしたものとなっており、イワシ、アジをはじめタコ、ナマコ、アサリ、カキなど様々な魚種となっている。

本市の水産業は、漁場環境の悪化や魚価の長期低迷などによる漁業所得の低下、後継者不足、漁業者の高齢化等深刻な問題を抱えている。



○海区別漁業生産状況※平成24年度

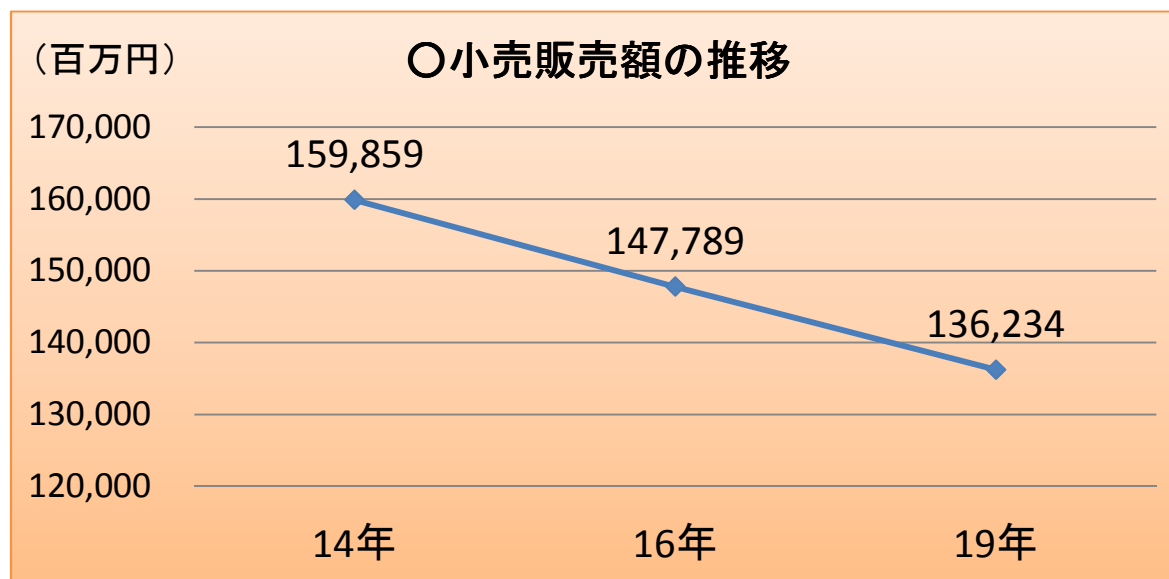
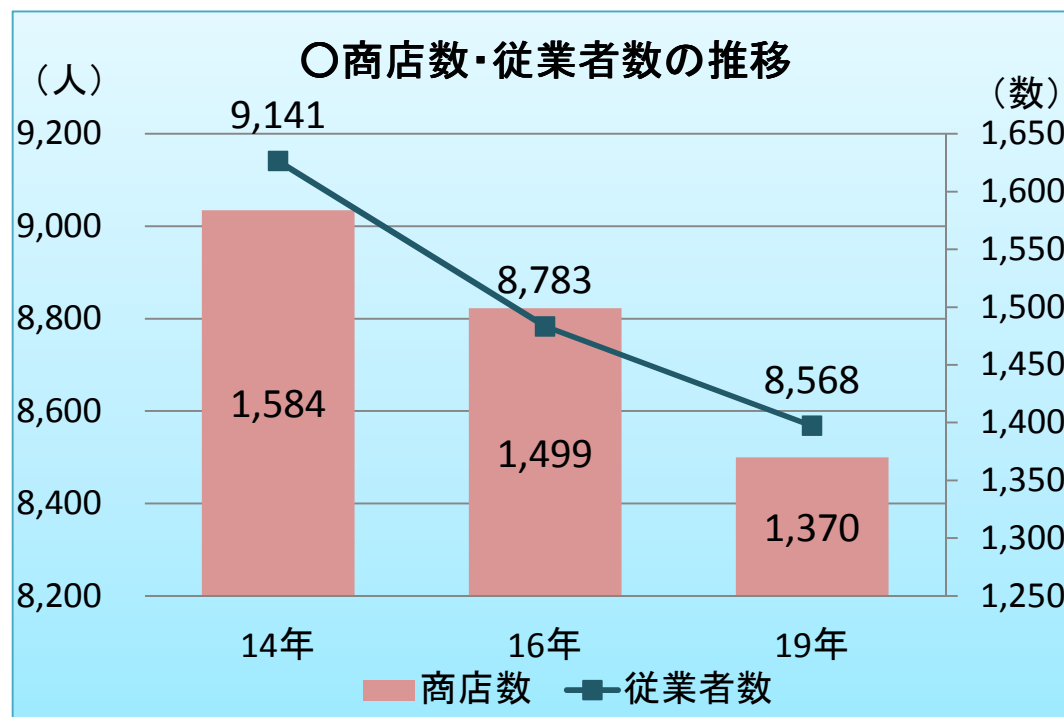
(資料:平成24年漁港港勢調査)

		橘湾	大村湾		諫早湾
漁業協同組合		橘湾中央漁業協同組合	多良見町漁業協同組合	大村湾東部漁業協同組合真津山支部	小長井町漁業協同組合
生産状況	t	2,076	57	2	261
	千円	280,000	80,000	3,000	115,000
主な漁業種類		中小型まき網 小型底引き網 刺網	小型底引き網 刺網 かご漁業	小型底引き網 刺網	養殖漁業
主な魚種		イワシ、アジ、イカ	ナマコ、カキ、タコ	カニ、ナマコ	アサリ、カキ
組合員数(人)		295	127	12	100 6

商業

本市の主な商業集積としては、市役所周辺のアエル中央商店街とJR諫早駅前永昌東町商店街がある。

車社会の進展、購買機会の多様化、郊外型店舗の増加などの要因により、中心商店街の歩行者通行量や販売額は減少を続けている。



(資料: 商業統計)

工業

本市の工業は、全国でも有数の規模を誇る諫早中核工業団地が昭和55年から分譲を開始して以降、製造業を中心として大規模な企業の進出が相次ぎ、飛躍的な発展を遂げてきた。製造品出荷額等においては、昭和63年以降長崎市に次いで県内第2位を継続している。

平成21年3月から分譲を開始した諫早流通産業団地については完売し、平成26年4月からは西諫早産業団地の分譲を開始するなど、更なる企業誘致を推進している。

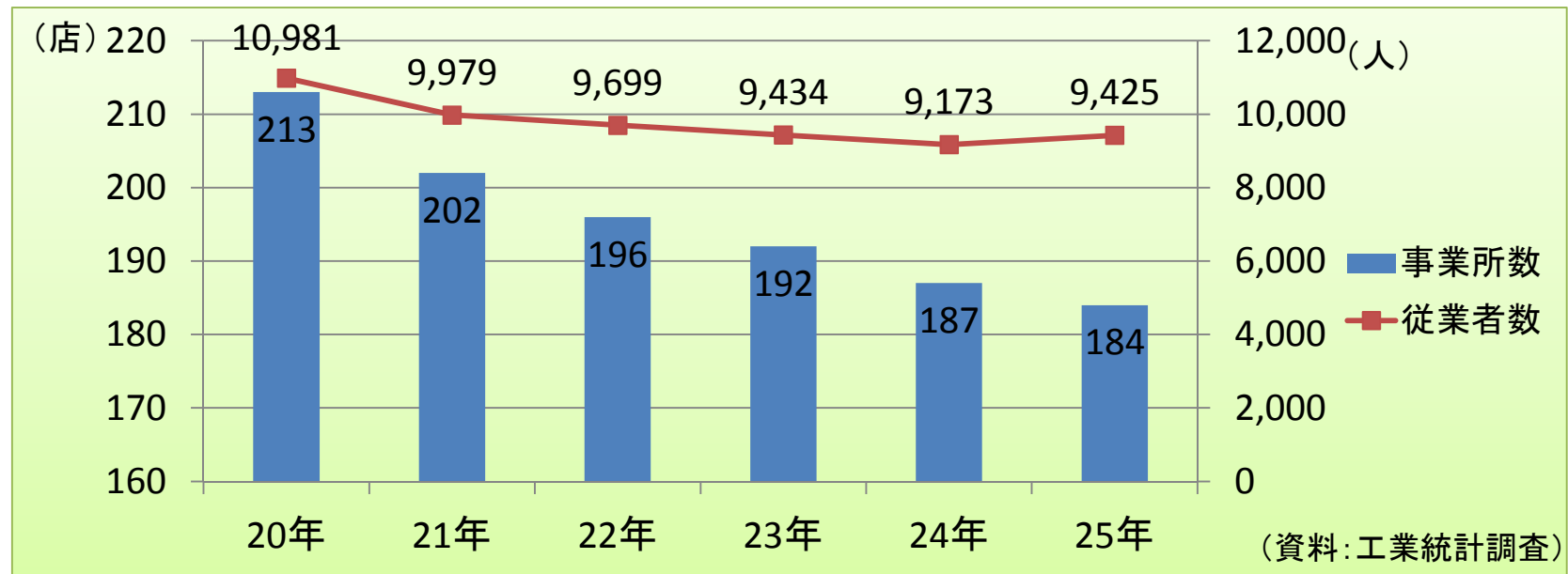
【西諫早産業団地】

- 総面積
約8.6ha
- 分譲面積
約7.8ha
- 分譲率
30.37%
(平成27年5月現在)

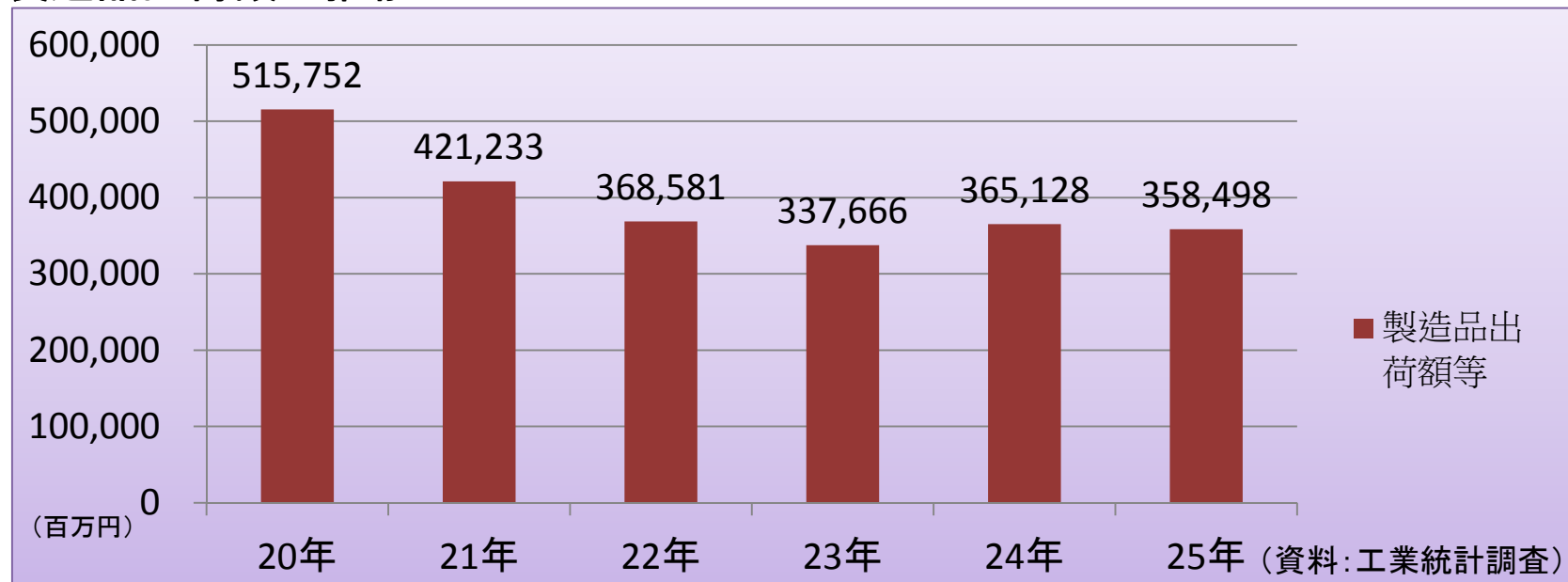
長崎県のほぼ中央に位置し、長崎自動車道諫早インターチェンジや港湾施設が整備された久山港に近接するなど、交通アクセスに優れた諫早市久山町に整備。



○事業所数と従業員数の推移



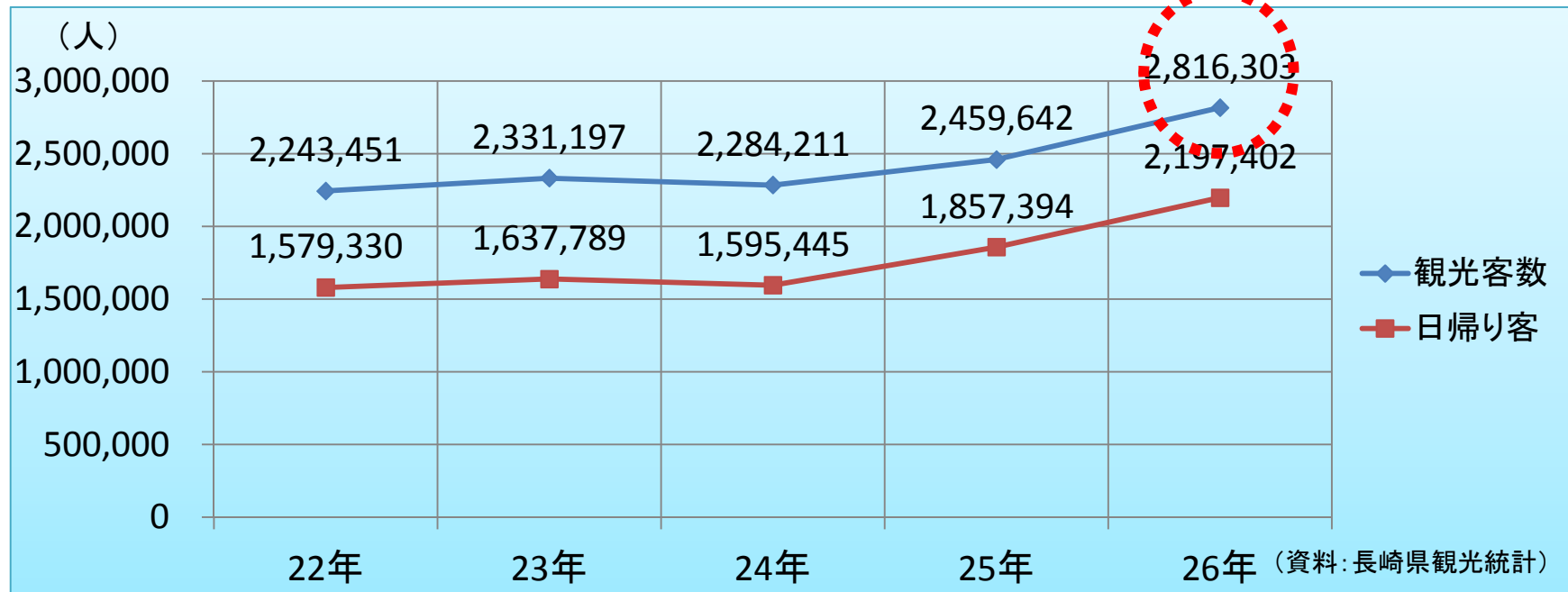
○製造品出荷額の推移



観光

○観光客の推移

平成26年の諫早市の観光客数が、約281万6千人(対前年増14.5%)となり、過去最高となった。特に日帰り客数の増加が顕著で約219万7千人(対前年増18.3%)と大幅に増加した。



【増加の主な要因】

- ・「長崎がんばらんば国体」、「長崎がんばらんば大会」の競技および閉開会式
- ・2014年3月にオープンした「諫早市美術・歴史館」
- ・諫早最大の祭り「のんのこ諫早まつり」や「いさはやグルメフェスティバル」、「いさはや灯りファンタジア」などのイベントが天候に恵まれたこと
- ・その他、Vファーレン長崎のホームゲームや牡蠣焼き、酒蔵開きなど本市の特色ある資源

○観光地



諫早公園(眼鏡橋)



白木峰高原



長崎県立総合運動公園・Vファーレン



結の浜マリパーク



いさはやグルメフェスティバル



のんのこ諫早まつり



諫早市こどもの城



いさはや灯りファンタジア



諫早市美術・歴史館

○特産品



おこし



小長井牡蠣



高来そば



楽焼うなぎ



伊木力みかん



ばれいしょ



唐比レンコン



清酒

諫早駅周辺整備事業



平成34年春の一括開業に向けて整備が進められている九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の新幹線駅として整備される諫早駅を中心に、更なる交通結節機能の強化と利用者の利便性の向上を図るとともに、交流人口拡大のため、諫早駅周辺の各種都市基盤の再整備を目的に諫早駅周辺整備事業を重点的に推進する。

諫早市管内図

資料No. 6

